

いでください。薬の効果が弱まります。

- 立ったり、座った姿勢で、コップ一杯の水（180mL以上）と一緒に飲んでください。薬を飲んでから少なくとも30分間は、横にならず食事を摂らないでください。口やのど、食道に潰瘍ができる可能性があります。
- 薬をかんだり、口の中で溶かしたりしないで飲んでください。

●飲み忘れた場合は？

- 決して2回分を一度に飲まないでください。朝食前に飲み忘れた場合は、その日は飲まないで翌日の朝に飲んでください。

●多く使用した場合（過量使用時）は？

起こりうる症状

- 低カルシウム血症（しびれ、筋肉の脱力感、けいれん）
- 低リン酸血症
- 胃や食道の障害（胃不調、胸やけ、食道炎、胃炎、または潰瘍等）

対処

- 無理に吐こうとしないで、すぐにコップ1杯の牛乳を飲んでください。横にならず、上体を起こしたまま、医師または薬剤師に相談してください。

## 6. 副作用

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

### ○重大な副作用

**顎骨壊死（がっこつえし）・顎骨髄炎（がっこつこつずいえん）**  
口の痛み、口のはれ、発赤、歯が浮いた感じ、歯のゆるみ、あごのしびれ感、あごが重たい、発熱、食欲不振

**肝機能障害、黄疸（おうだん）**  
皮膚が黄色くなる、嘔吐、白目が黄色くなる、尿の色が濃くなる、吐き気、食欲不振、かゆみ、体がだるい

**大腿骨転子下（だいたいこつてんしか）及び近位大腿骨幹部（きんいだいたいこつこつかんぶ）の非定型骨折**  
太ももや太ももの付け根の痛み

**食道・口腔内障害**  
飲み込みにくい、げっぷ、飲み込むときの痛み、熱いもの冷たいものがしみる、血を吐く、吐き気、嘔吐

**胃・十二指腸障害**  
胸痛、腹痛、胸やけ、みぞおちの痛み、押すと痛い、背中への痛み、便が黒くなる、血が混ざった便

**皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）**  
陰部の痛み、食欲不振、発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点、体がだるい、赤い発疹、唇や口内のただれ、高熱、結膜のただれ、まぶたや眼の充血、ひどい口内炎

**中毒性表皮壊死融解症（ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう）（TEN）**  
関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水泡、痛みのある赤い肌、体がだるい、発熱、食欲不振

**全身性低カルシウム血症**  
しびれ、筋肉の脱力感、筋力の減退、手足の震え、けいれん、場所・時間・名前がわからない、動悸、胸痛、むかむかする、めまい、失神

**皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症（ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう）（TEN）**  
上述と同様

○副作用かなと思ったら…

服用中に何か異変を感じた場合は副作用の可能性があるので、症状が現れた部位からお探してください。

(赤字は重大な副作用の症状の可能性あります。)

部位\頻度	1～5%未満	1%未満	頻度不明
消化器	胃・みぞおちの痛み、胃不快感・胃のもたれ感・腹部不快感	腹痛、嘔吐、食欲不振、げっぷ、おなら、胃酸逆流、、嘔気、便秘、下痢、胃炎、消化不良、血が混ざった便	胸やけ、血を吐く、押すと痛い、便が黒くなる、
皮膚・皮膚付属器		発疹、かゆみ、脱毛、蕁麻疹、発赤	赤い斑点、湿疹、皮膚が黄色くなる、破れやすい水泡、痛みのある赤い肌、陰部の痛み、発疹
血液		貧血	
心臓		脈が乱れる	動悸、胸痛
腎臓			尿の色が濃くなる
神経系		よろめき、頭痛	不眠、めまい、知覚減退
眼		かすみ、違和感、強い充血、痛み、視力低下	流涙、白目が黄色くなる、結膜のただれ、まぶたや眼の充血、瞼の腫れ
全身系		けいれん、手足の震え、しびれ、発熱、顔や手足のむくみ、ほてり(顔面紅潮、熱感等)、関節痛、背痛、筋肉痛、骨痛	四肢末端などの腫れ、下半身のしびれ、体がだるい、筋肉の脱力感、失神、背中の痛み、筋力の減退、関節の痛み、太ももや太ももの付け根の痛み
口腔・咽頭		口の痛み、口のはれ、歯が浮いた感じ、歯のゆるみ、あごのしびれ感、あごが重たい、口内炎、のどの痛み、のどの違和感	口、咽頭、舌などの腫れ、唇や口内のただれ、歯肉膨張、熱いもの冷たいものがしみる、口内乾燥、飲み込みにくい、飲み込むときの痛み
その他		味がわからない、気分不良、場所・時間・名前がわからない	

## 7. その他

### 7-1. 保管方法

- この薬の保管方法は？
  - ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
  - ・子供の手の届かないところに保管してください。
- 薬が残ってしまったら？
  - ・絶対に他の人に渡してはいけません。
  - ・余った場合は、処分方法について薬局や医療機関に相談してください。

### 7-2. この薬に含まれる成分

有効成分	アレンドロン酸ナトリウム水和物
添加物	無水乳糖、結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム

### 7-3. 製造・販売会社

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
- ・製造販売会社：MSD 株式会社 (<http://www.msd.co.jp>)
  - MSD カスタマーサポートセンター
  - フリーダイヤル：0120-024-964
  - 受付時間：9：00～18：00
  - （土・日・祝日・製造販売会社休日を除く）

## 患者向医薬品ガイド

2013年12月作成

フェンタニル3日用テープ 2.1mg 「テルモ」  
 フェンタニル3日用テープ 4.2mg 「テルモ」  
 フェンタニル3日用テープ 8.4mg 「テルモ」  
 フェンタニル3日用テープ 12.6mg 「テルモ」  
 フェンタニル3日用テープ 16.8mg 「テルモ」

## 【この薬は？】

販売名	フェンタニル 3日用テープ 2.1mg「テルモ」  Fentanyl Tape for 3 days 2.1mg 「TERUMO」	フェンタニル 3日用テープ 4.2mg「テルモ」  Fentanyl Tape for 3 days 4.2mg 「TERUMO」	フェンタニル 3日用テープ 8.4mg「テルモ」  Fentanyl Tape for 3 days 8.4mg 「TERUMO」	フェンタニル 3日用テープ 12.6mg「テルモ」  Fentanyl Tape for 3 days 12.6mg 「TERUMO」	フェンタニル 3日用テープ 16.8mg「テルモ」  Fentanyl Tape for 3 days 16.8mg 「TERUMO」
一般名	フェンタニル経皮吸収型製剤 Fentanyl				
含有量 (1枚中)	フェンタニル 2.1mg	フェンタニル 4.2mg	フェンタニル 8.4mg	フェンタニル 12.6mg	フェンタニル 16.8mg

## 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」  
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

## 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、持続性がん疼痛治療剤と呼ばれるグループに属する貼り薬です。
- ・この薬は、皮膚を通して少しずつ体内に吸収され、痛みを伝える神経組織や痛みの中枢に働きかけ、痛みをやわらげます。
- ・この薬は次の目的で処方されます。

**非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合には限る。）  
中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛**

注）オピオイド鎮痛剤：医療用麻薬（モルヒネなど）

- ・この薬は、自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに使用することが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬を貼っている部位は温度が上がると過量に体内に吸収され、重篤な副作用を引き起こすおそれがあります。この薬を使用している間は、外部熱源（電気パッド、電気毛布、加温ウォーターベッド、赤外線灯、こたつ、集中的な日光浴、サウナ、湯たんぽなど）への接触、熱い温度での入浴等を避けてください。

**【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】**をよくお読みください。

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・過去にフェンタニル3日用テープ「テルモ」に含まれる成分（フェンタニル）で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
  - ・慢性肺疾患などの呼吸機能に障害のある人
  - ・喘息の人
  - ・徐脈性不整脈のある人
  - ・肝臓や腎臓に障害がある人
  - ・頭蓋内圧の亢進、意識障害・昏睡、脳腫瘍などの脳に器質的な障害のある人
  - ・40℃以上の発熱がある人
  - ・過去に薬物依存のあった人
  - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

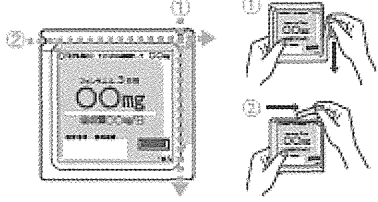
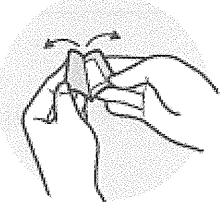
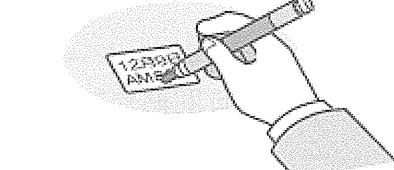
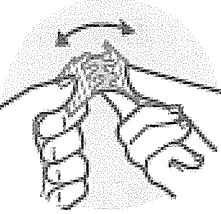
1回に複数枚使用することもあります。

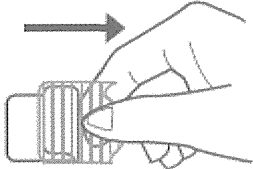


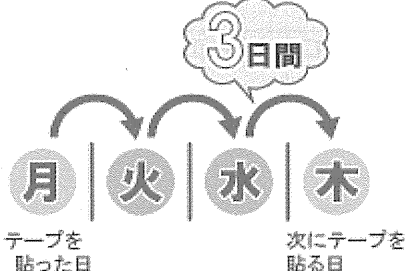
通常、成人では、1回貼ると3日間（約72時間）効果が持続しますので、3日ごとに貼り替えます。使用中のテープを貼ったまま新しいテープを貼らないでください。

痛い場所に貼るのではなく、胸、腹、上腕、または大腿部のいずれかの部位にテープを貼ってください。

### ●どのように使用するか？

- ・貼る時まで、外袋を破らないでください。
- ・あらかじめ貼る部位を乾いたタオルなどでよく拭いてください。  
（水分や汗でぬれているとうまく貼れません）
- ・貼る直前に、石けん、アルコールやローションなどを貼る部位に使用しないでください。

	1) 包装袋の切り口から矢印方向に1,2の順番で手で開封してください。
	2) 包装袋を開いてテープを取り出します。
	3) テープ表面の“○月○日○時”と書いてある所に、貼る日にちと時間を直接記入してください。  ペン・ボールペンなどで直接書けます。水性ペンは乾きが遅いのでご注意ください。
	4) フィルムを半分はがします。  テープには緑色の細い線が入った半透明なフィルム（テープより少し大きいサイズです）がついています。緑色のフィルム面を上にしてかるく半分にまげ、真ん中付近にある波型部分から片方のフィルムをはがしてください。  粘着面には触れないでください。

	<p>5) テープ面を皮膚に貼ります。次に残りのフィルムをはがしながら貼ってください。</p>
	<p>6) テープを貼った上から、手のひらで 30 秒間しっかり押さえます。</p> <p>きちんと貼ることで、必要な量のくすりが体内に吸収されます。 テープの端がはがれそうなときは、再度手のひらで押さえついたり、ばんそう膏などでとめたりしてください。</p>
	<p>7) テープを貼り終わったら、水道水で手を洗ってください。</p> <p>石けん、アルコール、ローション等は使用しないでください。</p>
	<p>8) 貼ってから3日間（約72時間）たったらテープを皮膚からはがして、同じ手順で、新しいテープに貼り替えてください。</p> <p>「3日間（72時間）」というのは、例えば、月曜日に貼ったら次の貼り替え日は木曜日ということです。</p>

- ・かゆみやかぶれを防ぐために、貼る部位を毎回変えて下さい。
- ・本剤をハサミ等で切って使用しないで下さい。また、傷ついたパッチは使用しないでください。

### ●はがれた場合の対応

テープがはがれそうなときは、再度、手で押しつけてください。テープがはがれた場合は、直ちに同用量の新しいテープに貼り替えて3日間貼ってください。

### ●貼り忘れた場合の対応

2回分を1度に貼ってはいけません。貼り忘れや3日を超えたにもかかわらず貼り替えていないことに気がいたら、すぐにテープをはがし、通常の手順に従って貼ってください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

重篤な換気低下（酸素の吸収が十分に行えないために起こる、考えがまとまらない、判断力の低下、頭痛などの症状）があらわれることがあります。このような症状があらわれたらすべてのパッチをはがし、すぐに受診してください。また、家族の方はこのような症状があらわれたらゆり動かしたり話しかけたりして目をさまさせておいてください。



## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用するにあたって患者さんや家族の方は副作用、使用方法などを十分理解できるまで説明を受けてください。
- ・呼吸抑制や意識障害などの症状があらわれた場合はただちに医師に連絡してください。
- ・他の鎮痛剤からこの薬へ切り替えた直後に、吐き気、嘔吐（おうと）、眠気、めまいなどの副作用があらわれることがあります。これらの症状は時間の経過とともに少なくなります。
- ・急に薬を減量したり使用をやめたりすると、嘔吐、下痢、不安、振戦、悪寒などがあらわれることがあります。
- ・この薬は、発熱や激しい運動によって体温が上がると体内へ吸収されやすくなります。その結果、重篤な副作用を引き起こす可能性があります。この薬を貼っている部位が電気パッド、電気毛布、加温ウォーターベッド、赤外線灯、湯たんぽ、こたつなどの熱が発生しているものに接しないようにしてください。
- ・集中的な日光浴、サウナは控えてください。
- ・熱いお風呂に長時間入浴することは避けてください。
- ・眠くなったりめまいがおこったりすることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作はしないでください。
- ・妊娠または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
依存性 いぞんせい	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえ不眠不安けいれん幻覚などを起こす
呼吸抑制 こきゅうよくせい	息苦しい、息切れ
意識障害 いしきしょうがい	意識の低下、考えがまとまらない、判断力の低下
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	からだのだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、じんましん、判断力の低下
痙攣 けいれん	けいれん

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだのだるい、ふらつき、けいれん、冷や汗
頭部	考えがまとまらない、意識の低下、めまい、意識がうすれる
顔面	ほてり、血の気が引く
眼	眼と口唇のまわりのはれ
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ
胸部	動悸（どうき）、息切れ、息苦しい
皮膚	じんましん
その他	判断力の低下、薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえ不眠不安けいれん幻覚などを起こす

## 【この薬の形は？】

販売名	フェンタニル 3 日用 テープ 2.1mg「テルモ」	フェンタニル 3 日用 テープ 4.2mg「テルモ」	フェンタニル 3 日用 テープ 8.4mg「テルモ」
形状	 四隅が丸い四角形の テープ剤	 四隅が丸い四角形の テープ剤	 四隅が丸い四角形の テープ剤
大きさ (縦 mm×横 mm)	20.5×26.1	25.4×41.6	60.8×37.8
色	無色半透明		

販売名	フェンタニル 3 日用テープ 12.6mg「テルモ」	フェンタニル 3 日用テープ 4.2mg 「テルモ」
形状	 四隅が丸い四角形のテープ剤	 四隅が丸い四角形のテープ剤
大きさ (縦 mm×横 mm)	60.7×55.1	60.7×72.3
色	無色半透明	

## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	フェンタニル
添加物	スチレン・イソプレン・スチレンブロック共重合体，流動パラフィン，水素添加ロジングリセリンエステル，テルペン樹脂，ポリブデン，ジブチルヒドロキシトルエン

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・この薬を使用するまでは包装を開けずに保管してください。
- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・この薬を他人に渡すことは、法律で禁じられています。
- ・使わずに残ったテープは、病院または薬局に戻してください。

### ●廃棄方法は？

- ・テープの粘着面を内側にしてふたつ折りにたたんだ後、廃棄してください。
- ・子どもやペットがさわらない場所に廃棄してください。使用済みのテープにも薬が残っているので、子どもやペットに重大な影響（呼吸抑制や意識障害など）を起こすおそれがあります。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：帝國製薬株式会社

販売会社：テルモ株式会社 (<http://www.terumo.co.jp/>)

テルモ・コールセンター

電話：0120-12-8195


受付時間：9時～17時45分

（土・日・祝日・会社休業日を除く）

# フェンタニル 3 日用テープ

## 2.1mg 「テルモ」

(成分名：フェンタニル)

販売名	フェンタニル 3 日用テープ 2.1mg「テルモ」
形状	 <p>四隅が丸い四角形のテープ剤</p>
大きさ (縦 mm × 横 mm)	20.5 × 26.1
色	無色半透明

### 目次

#### 1.どんな薬？

1-1.何の治療に使う薬？

1-2.この薬の効果は？

2.この薬について特に重要なこと

3.この薬を使う前に注意すること

4.この薬を使うにあたり注意すべきこと

5.この薬の使い方

6.副作用

#### 7.その他

7-1.保管方法

7-2.この薬に含まれる成分

7-3.製造・販売会社

## 1. どんな薬？

### 1-1. 何の治療に使う薬？

- ・次の病気の治療のために処方されます。  
持続性がん疼痛治療剤と呼ばれるグループに属する貼り薬です。  
主に痛みが強い症状の癌の治療に使用します。

### 1-2. この薬の効果は？

- ・この薬は、皮膚を通して少しずつ体内に吸収され、痛みを伝える神経組織や痛みの中枢に働きかけ、痛みをやわらげます。

## 2. この薬について特に重要なこと

- ・この薬は、発熱や激しい運動によって体温が上がると体内へ吸収されやすくなります。その結果、重篤な副作用を引き起こす可能性があります。この薬を貼っている部位が電気パッド、電気毛布、加温ウォーターベッド、赤外線灯、湯たんぽ、こたつなどの熱が発生しているものに接しないようにしてください。
- ・集中的な日光浴、サウナは控えてください。
- ・熱いお風呂に長時間入浴することは避けてください。
- ・眠くなったりめまいがおこったりすることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作はしないでください。
- ・この薬は、自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると本来の効果が得られないことがあります。指示通りに使用することが重要です。

## 3. この薬を使う前に注意すること

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にフェンタニル3日用テープ「テルモ」に含まれる成分（フェンタニル）で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に伝えてください。

- ・慢性肺疾患などの呼吸機能に障害のある人
- ・喘息の人
- ・除脈性不整脈のある人
- ・肝臓や腎臓に障害がある人
- ・頭蓋内圧の亢進、意識障害・昏睡、脳腫瘍などの脳に障害のある人
- ・40℃以上の発熱がある人

- 過去に薬物依存のあった人
- 高齢の人
- 妊娠又は妊娠している可能性がある人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

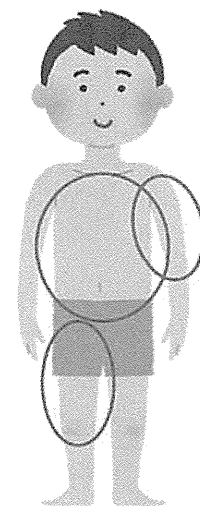
#### 4. この薬を使うにあたり注意すべきこと

- 患者さんや家族の方は副作用、使用方法などを十分理解できるまで説明を受けてください。
- 呼吸抑制や意識障害などの症状があらわれた場合は直ちに医師に連絡してください。
- 他の鎮痛剤からこの薬へ切り替えた直後に、吐き気、嘔吐（おうと）、眠気、めまいなどの副作用があらわれることがあります。これらの症状は時間の経過とともに少なくなります。
- 急に薬を減量したり使用をやめたりすると、嘔吐、下痢、不安、体の震え、寒気などがあらわれることがあります。
- 授乳を避けてください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師又は薬剤師に伝えてください。

#### 5. この薬の使い方

##### ●使用量と回数とは？

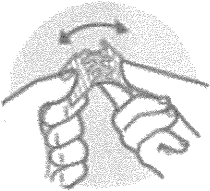
- 1回に複数枚使用することもあります。  
通常、成人では、1回貼ると3日間（約72時間）効果が持続するので、3日ごとに貼り替えます。使用中のテープを貼ったまま新しいテープを貼らないでください。  
痛い場所に貼るのではなく、胸、腹、上腕、または大腿部のいずれかの部位にテープを貼ってください。



##### ●どのように使用するか？

- 貼るときまで、外袋を破らないでください。
- あらかじめ貼る部位を乾いたタオルなどでよく拭いてください。  
(水分や汗でぬれているとうまく貼れません。)

- 貼る直前に、石けん、アルコールやローションなどを貼る部位に使用しないでください。
- かゆみやかぶれを防ぐために、貼る部位を毎回変えて下さい。
- 本剤をハサミ等で切って使用しないで下さい。また、傷ついたパッチは使用しないでください。

	<p>① 包装袋の切り口から矢印方向に1、2の順番で手で開封してください。</p>
	<p>② 包装袋を開いてテープを取り出します。</p>
	<p>③ テープ表面の“O月O日O時”と書いてある所に、貼る日にちと時間を直接記入してください。</p> <p>✓ ボールペンなどで直接書けます。水性ペンは乾きが遅いのでご注意ください。</p>
	<p>④ フィルムを半分はがします。</p> <p>✓ テープには緑色の細い線が入った半透明なフィルム（テープより少し大きいサイズです）がついています。緑色のフィルム面を上にして軽く半分に曲げ、真ん中付近にある波型部分から片方のフィルムをはがしてください。</p> <p>✓ 粘着面には触れないでください。</p>
	<p>⑤ テープ面を皮膚に貼ります。次に残りのフィルムをはがしながら貼ってください。</p>



	<p>⑥ テープを貼った上から、手のひらで30秒間しっかり押さえます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ きちんと貼ることで、必要な量のくすりが体内に吸収されます。</li> <li>✓ テープの端がはがれそうなときは、再度手のひらで押さえつけたり、ばんそう膏などでとめたりしてください。</li> </ul>
	<p>⑦ テープを貼り終わったら、水道水で手を洗ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 石けん、アルコール、ローション等は使用しないでください。</li> </ul>
	<p>⑧ 貼ってから3日間（約72時間）たったらテープを皮膚からはがして、同じ手順で、新しいテープに貼り替えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「3日間（72時間）」とは、例えば、月曜日に貼ったら次の貼り替え日は木曜日ということです。</li> </ul>

●はがれた場合は？

- テープがはがれた場合は、直ちに同じ枚数の新しいテープに貼り替えて3日間貼ってください。

●貼り忘れた場合は？

- 2回分を1度に貼ってはいけません。貼り忘れや張り替えていないことに気がついたら、すぐにテープをはがし、通常の手順に従って貼ってください。

●多く使用した場合は？

- 酸素の吸収が十分に行えないために、考えがまとまらない、判断力の低下、頭痛などの症状があらわれることがあります。そのような場合はすべてのパッチをはがし、すぐに受診してください。また、家族の方は揺り動かしたり話しかけたりして目を覚まさせてください。

## 6. 副作用

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

### ○重大な副作用

#### 意識障害

意識の低下、考えがまとまらない、判断力の低下

#### 依存性

薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえ不眠不安けいれん幻覚などを起こす

#### 呼吸抑制

息苦しい、息切れ

#### アナフィラキシー

からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、目と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸(どうき)、じんましん、判断力の低下

#### 全身性 ショック

冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下

#### けいれん

全身のふるえ

○副作用かなと思ったら…

服用中に何か異変を感じた場合は副作用の可能性があるので、症状が現れた部位からお探してください。

(赤字は重大な副作用の症状の可能性あります。)

部位	症状
消化器	便秘、吐き気、下痢、腹痛、胃部不快感、消化不良、いぼ痔、
皮膚・皮膚付属器	痒み、小さな水膨れ、発疹、赤い斑点、湿疹、あせも、皮膚が青紫色になる、皮膚がピリピリと痛む、帯状の水膨れ
血液	貧血、生理でないのに血が出る
呼吸器	息苦しい、息切れ
心臓	高血圧、低血圧、脈が速くなる、ドキドキする、脈が遅くなる
泌尿器	尿が出にくくなる、尿の切れが悪くなる
神経系	叩いたり声を掛けたりすると目を覚めますが放置しておくとも眠り込んでしまう、眠気、不眠、不安、幻覚、イライラ感、物忘れ、錯乱、多幸感、感情が高ぶる、感覚異常、感覚が鈍くなる、無感情、注意力が低下する、味が分からなくなる、錐体外路障害、考えがまとまらない、判断力の低下
眼	縮瞳、霧がかかったように見える、結膜炎、ものが二重に見える、めまい、目の腫れ
全身系	倦怠感、発熱、発汗、手足のむくみ、筋けいれん、疲れ、インフルエンザのような症状、冷感、熱っぽい、背中痛み、筋肉痛、手足の痛み、胸の痛みや不快感、寒気、体の震え、ほてり、じんましん
口腔・咽頭	鼻やのどの痛み、口内炎、口が渇く、口周りの腫れ、しゃがれ声
その他	しゃっくり、薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえる、耳鳴り、勃起不全、食欲不振、食欲減退、頭痛、

## 7. その他

### 7-1. 保管方法

●この薬の保管方法は？

- ・この薬を使用するまでは包装を開けずに保管してください。
- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・この薬を他人に渡すことは、法律で禁じられています。
- ・使わずに残ったテープは、病院または薬局に戻してください。

●廃棄方法は？

- テープの粘着面を内側にしてふたつ折りにたたんだ後、廃棄してください。
- 子どもやペットがさわらない場所に廃棄してください。使用済みのテープにも薬が残っているので、子どもやペットに重大な影響（呼吸抑制や意識障害など）を起こすおそれがあります。

### 7-2. この薬に含まれる成分

有効成分	フェンタニル
添加物	スチレン・イソプレン・スチレンブロック共重合体、流動パラフィン、水素添加ロジングリセリンエステル、テルペン樹脂、ポリブテン、ジブチルヒドロキシルエン

### 7-3. 製造・販売会社

- 症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：帝國製薬株式会社 (<http://www.terumo.co.jp/>)

テルモ・コールセンター

電話：0120-12-8159

受付時間 9：00～17：45

（土・日・祝日・会社休業日を除く）